



Newspaper in Education



貝にかみつく生きたラブカ19日、沼津市千本港町の沼津港
深海水族館シーラカンス・ミュージアム

① ラブカはどんな魚でしょうか。

② 生きたラブカを展示しているのは国内で何か所あるでしょうか。

沼津近海ラブカ捕獲

古代のサメに似ていて「生きた化石」とも言われる深海サメの一種「ラブカ」が19日、駿河湾で生きたまま捕獲された。沼津市千本港町の沼津港深海水族館シーラカンス・ミュージアム（石垣幸二館長）が引き取り、公開している。生きたラブカの展示は国内で唯一という。

深海水族館
生体展示、国内唯一

ほぼどの成魚の雌。同市江浦の釣り船が海面を泳いでいるのを発見した。石垣館長は「海面で捕獲するケースは非常に珍しく、きれいな状態を保っている」と話した。腹が少し膨らんでいるため妊娠している可能性があり、「世界的にも水族館でラブカが出産した例はないのでは」と期待を寄せた。

ラブカはカグラサメ目で水深千メートルほどに生息し、深海の薄い酸素を効率的に取り込むためにえらが外に飛び出ている。

③ ラブカは、ふだんどこにすんでいるのでしょうか。

2012年5月20日朝刊 社会面

年 組 名前

(小学校中学年以上理科・4年生社会)